

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回3市ごみ減量推進市民会議		
事 務 局 (担 当 課)	小金井市ごみ対策課、日野市ごみゼロ推進課、 国分寺市ごみ減量推進課		
開 催 日 時	令和5年11月21日(火) 午前10時00分～12時00分		
開 催 場 所	日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設2階 多目的室		
出 席 者	委 員	<出席者：14名> (学識) 宮脇委員長 (日 野 市委員) 加納委員・高松委員 (国分寺市委員) 八ツ藤委員・森田委員・佐藤委員・石垣委員 (小金井市委員) 林委員・續木委員・齋藤委員 (行政) 小澤委員(日)・栗原委員(国)・今井委員(小) 鈴木委員(浅)	
	事 務 局	日 野 市：大和主事 国分寺市：西脇係長 小金井市：立崎係長・千野主事	
欠 席 者	伊藤委員(日野市委員)、小野寺委員(日野市委員)		
傍聴者の可否	可	傍 聴 者 数	0人
会 議 次 第	1 小委員会からの中間報告 (1) 情報発信・環境学習グループ (2) 減量グループ 2 その他 3 閉会		
会 議 結 果	別紙審議経過のとおり		
提 出 資 料	別添のとおり		
そ の 他			

事務局	<p>それでは、定刻前ではございますが、お揃いですので、ただいまより令和5年度第2回3市ごみ減量推進市民会議を開催いたします。</p> <p>会議の前に、小金井市選出の橋本委員につきまして、辞任の報告をさせていただきます。橋本委員より辞任届が提出され、本会議の今後の運営に関しまして、3市課長会において調整をさせていただきました。残りの任期が短いことから、新たに委員を補充せず、このまま運営を行っていくことになっております。</p> <p>続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。一番上から本日の次第、次に「私たちの可燃ごみ処理施設」という小冊子、次に3市連携特集記事掲載の提案ですが、一部間違いがありましたので、後日、皆様に正式なものを送付させていただきます。次に減量グループの3市廃棄物減量推進市民会議減量グループという次第のようなもの、次に食品ロス意識調査結果、次に3市食品ロス意識調査自由記述の集計結果、次に「食品ロス削減の取組の方向性～アンケート結果に基づく提案～」、最後に令和5年度第1回3市ごみ減量推進市民会議会議録でございます。不足等ございましたら事務局まで申し出をお願いいたします。間違いのあった資料につきましては回収させていただきます。</p>
林委員（小）	<p>あと1枚、500人のアンケートの結果からというタイトルのものが無いようです。</p>
事務局	<p>資料とは別に皆様に配布しております。</p>
林委員（小）	<p>食品ロスの方向性という資料がありますよね、それと500人のアンケートの結果からという資料を3市食品ロス意識調査自由記述欄の集計結果の4枚目に差し込みをお願いします。説明の流れがその順番になっていますので。</p>
事務局	<p>それでは、宮脇委員長にご挨拶をいただきまして、進行をお願いしたいと思います。委員長よろしくをお願いいたします。</p>
宮脇委員長	<p>皆さん、おはようございます。大分涼しくなってきた、ようやく夏が終わったと思ったら、秋が通り過ぎて、もう冬が来るのかというような時期になっております。大学でも風邪をひいて倒れる学生が多発している時期でございますので、お気を付けてお過ごしいただければというふうに思っている次第です。</p> <p>本日は、今、シーズンが大きく変わる中で、暑い時期からこの時期まで情報発信・環境学習グループと減量グループの2つグループで丁寧に作業をして、議論を進めていただいて、作業も含めて沢山のことをやっていただいており、本当にありがとうございます。今日は、その内容についてそれぞれ報告をいただいて、お互いのグループの情報共有を図るところが大きな目的になるかと思っておりますので、丁寧な説明と併せて、活発なご意見の交換をさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより会議を開催したいと思いますが、まず初めに写真撮影についての依頼がございますので、浅川清流環境組合の鈴木委員からお話しさせていただきたいと思っております。</p>

鈴木委員（浅）	<p>浅川清流環境組合の鈴木でございます。お時間をいただきありがとうございます。先ほど委員長からご案内がございましたとおり、お願いがございまして、私どもの浅川清流環境組合のほうで、組合ニュースというものを毎年9月と3月におおむね2回発行しておるんですけれども、直近、来年3月発行の組合ニュースに3市のごみ減量の推進市民会議といったものを行っているといった案内の記事を入れられないかということで動いてございまして、その記事を載せる関係で、本日の会議の場の写真のほうを撮らせていただいて、組合ニュースのほうに載せさせていただきますかと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。</p> <p>—委員了承—</p>
鈴木委員（浅）	<p>マスクをしていらっしゃる方はそのまま大丈夫ですので、後ほど担当の職員が会議中、写真を撮らせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>あと、たぶん大丈夫だと思うんですけど、今後、組合のほうでどうしても優先してお知らせしなければならないことが発生した場合、直近のニュースに載せられずに次回に持ち越しといったようなこともあるかもしれませんが、基本的には3月に載せる方向で動いてございますので、併せてご了承をお願いいたします。</p>
宮脇委員長	<p>それでは、会議を始めたいと思います。まず、傍聴の有無について事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日はまだ傍聴者の方はお越しになっておりません。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。この会議は原則公開となっておりますので、途中からお越しになった際は、入っていただくようにしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、早速始めてまいりたいと思います。議事に沿って進めます。まず初めに小委員会の報告ということで、情報発信・環境学習グループより、内容の報告いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
八ツ藤委員（国）	<p>情報グループの八ツ藤でございます。よろしくお願いいたします。グループの報告と提案の2つの項目について、ご説明させていただきます。冒頭、話がありましたように手違いがございまして、資料を回収させていただきましたので、口頭で説明をさせていただきますと思います。</p> <p>2点ございます。第1点は、小学生向けの小冊子「私たちの可燃ごみ処理施設」の現在の編集状況でございます。大分大詰めになっておまして、皆さんのお手元に本当はカラーのほうが良かったと思っておりますけれども、白黒の最新版の第3校が配られておりますので、後から行政委員のほうからお話をさせていただきますと思います。</p> <p>状況でございますけれども、2回、情報グループ会議を開催しております。9月6日に開催しておまして、7月の全体会議で皆さんにご覧いただきました原稿に基づきまして、コモダ印刷さんのほうから初校の提示がございました。その初校について、事前に事務局のほうで検討して</p>

いただいておりますので、その修正箇所等について初めに事務局のほうから各ページごとに説明がありまして、それについて、我々委員のほうからも具体的な修正意見を出したということでございます。

それから、小学生向けの小冊子でありますので、特に色彩とか書体とか字の大きさとか、こういうものについては、ぜひユニバーサルデザインを意識して、見やすくわかりやすいようにして欲しいというような要望を出してございます。

それから、最後に行政委員のほうから、小冊子の末尾のところに「編集：3市ごみ減量推進市民会議」というのを記載したいという提案がございましたが、私個人としましては、市民会議は提案機関でありますので、実際に実施機関として編集という名前を出すのがいいかどうかと、ちょっと違和感を持ちましたので、この点については自分で判断ができないので、事前に宮脇委員長の了解を得ていただければということでも申し上げてございます。

それから、第3回目ですけど、10月26日に情報グループ会議を開催しました。ここでは前回の修正について、コモダ印刷さんが修正された第2校の提示がございました。前回の修正点については、修正されておりますけれども、当時はまだ振り仮名がまばらで、振り仮名つけてあるものがあつたり無かつたりということで、出来上がりの字の大きさとかイメージができにくいという状態ということで、今回配られたのは、全部振り仮名が振ってありますので、これでイメージが固まったかなというふうに思います。この会議でも事務局の進行によりまして、各ページごとに文章とか字句の修正等について意見を出し合ったということで、その結果が、皆さんのお手元にあるということでございます。

それから、今後の予定でございますけれども、今日の全体会議で第3校をお配りしてございますので、それについて、皆様のご意見を伺った上で、来月、第4回目の情報グループ会議で最終校正になると思います。

それから、並行しまして行政サイドのほうで、直接関係があります教育委員会とかで参考意見を聞いてもらうというようなことにしております。印刷部数は1万部を予定しておりますけれども、コモダ印刷さんとの契約期限が1月の末ということのようでございますので、1月に印刷して納品ということになるかなと思っております。

それから、児童への配布でございますけど、個人的には来年の4月、新年度かなと思っております。毎年、小学校4年生の見学は6月くらいから始まるので、本格的な配布は来年の6月くらいかなというふうに予定をしております。今後のスケジュールで補足があれば、行政委員のほうにお願いしたいと思っております。

それから、2番目ですけども、3市連携の特集記事の掲載について、皆さんにも資料があれば分かりやすいですけども、これを提案させていただきたいということでございます。特集記事の掲載の提案理由でございますけれども、過去2回、我々の提案で、3市共同で市報等の特集記事を載せていただいておりますので、お分かりいただいている方もいらっしゃると思うんですけども、2回、3市が発行しております情報紙、これ、市報も含みますけれども、浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設関連の特集記事を掲載しておりますが、やはり継続して3市の皆さんに情報を提供し、理解と協力を得ることが重要であると思っておりますので、3月15日発行ですね、ここに3市共同の連携の特集記事を載せたらどうかということでございます。過去2回は、令和2年の3月15日号、

これはちょうど本格稼働直前の時期だったんですが、タイミングもよく、ここで第1回の特集記事を発行しております。それから第2回目は、令和4年の3月15日ですね、ここにも載せていただいております。

どんな情報紙かといいますと、日野市さんの場合、「広報ひの」が発行されておりますが、ここに載せていただいております。それから国分寺市の場合は、市報折り込みの「ごみ減量リサイクルだより」がありますので、ここの1ページ載せていただいております。それから小金井市さんも市報折り込みの「ごみ減量・リサイクル特集」がありますので、ここに載せているという形で、過去と同じような形で来年の3月、載せたらどうかという提案でございます。

内容ですけれども、あくまでも案でございますが、可燃ごみ処理施設が令和2年に稼働して3年、あるいは4年たっておりますので、その稼働状況とか、あるいは、公害防止関係とか、あるいは、令和2年から令和4年、これは実績が出ていると思いますが、それを踏まえた状況の説明と場合によっては、今後の課題みたいなものを載せてもらったらどうかということ。

2番目としましては、3市の共同事業の紹介です。3市が今、共同でいろんなことをやっていただいておりますので、例えば、今進んでいる水銀回収キャンペーンですね、これの実績や、あるいは、コンタクトレンズの空きケースの回収等も連携してやっておりますので、この紹介をしてもらったらどうかということ。

3番目としましては、市民会議の活動紹介ですね。我々、来年の3月で終わりですけれども、具体的な成果が出てきているという感じもありますので、ここはぜひ紹介をお願いしたい。1つは今、紹介いたしました小冊子「私たちの可燃ごみ処理施設」の発行ですね、この時点でもう出来上がっておりますので、写真入りで紹介したらどうかと。それから、後から説明があるとは思いますが、食品ロスの市民アンケートです。これも市民会議の提案で10月に実施されたと思いますけれども、結果について、3市の市民の皆さんにご報告をするということで、市民会議の活動紹介を入れてもらったらどうかということ。

4番目としては、これも毎回やっていただいておりますけれども、市長メッセージということで、ここもやはり3年間の総括と日野市さんへの感謝、あるいは、市民の皆さんへのさらなる分別の徹底と可燃ごみ減量というふうなイメージで掲載していただいたらどうかと。連名にするか、個別メッセージにするか、いろいろ意見はあると思うんですが、これは行政サイドの判断で、ぜひ市長メッセージを掲載していただけたらということなんです。

それから、もう一つは、過去2回、市民会議メッセージを皆さんで協議させていただきまして、載せていただいているんですけれども、後で皆さんに意見を伺いたいと思うんですが、今回は市民会議の活動紹介が具体的に出てきますので、あえて市民会議メッセージという形はなしでもいいのかなと。毎回やっても、新しい意味のあるメッセージというのなかなか出にくい面もありますので、個人的には、今回は取りやめてもいいかなというふうに思っております。発行時期は、来年、令和6年の3月15日号。3市の足並みそろえば、3月15日という形で掲載していただいたらどうかということで、以上が提案の内容でございます。

皆さんにお配りしている「私たちの可燃ごみ処理施設」について、行政委員のほうでフォローしていただければと思いますので、よろしくお

宮脇委員長	<p>願いたします。</p> <p>ありがとうございます。それでは、続けて資料のほうの説明をお願いいたします。</p>
今井委員（小）	<p>おはようございます。小金井市ごみ対策課の今井です。行政委員のほうから補足をとということです、「私たちの可燃ごみ処理施設」、この冊子について、若干補足させていただきます。</p> <p>本日、本来であれば、参考にカラーでお渡しできるようにということで、手配を進めていたんですけども、手配ミスがありまして、残念ながら白黒になってしまいました。我々行政側のほうもまだ、文言の直しがしっかり終わっているのかどうかと確認作業を進めているところで、今日も1か所見つけてはいます。一番最終ページの7、「リサイクルで何に生まれ変わる？」というところの中段の資源物のびんのところで、右側の生まれ変わるもの（変身）というところに行くと、びんが平仮名ではなく、片仮名で記載されているというところもあったりするので、こういったところの細かい校正、これからは行政側で進めてまいります。改めて委員の皆様からご指摘事項、ご意見など、伺えたらなと思っております。つきましては、12月4日の月曜日頃をめぐり、事務局までメールにてご指摘事項、ご意見ありましたら、ご送付いただければと思います。その後、事務局で取りまとめ、小委員会、情報発信・環境学習グループのほうに、その旨、ご意見等を伝達し、最終校正確定の上、印刷工程に入ってまいりたいと考えておりますので、ご協力方よろしく願いたします。補足は以上になります。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今、情報発信・環境学習グループの活動、具体的な内容についてのご紹介として、まず、この冊子の作成に関する内容と、大体の大まかな今後の配付までのスケジュールなどの紹介、それから、先に飛ばしてセットで言ってしまいますけど、今、ご紹介いただいたように、カラー刷りのものとかが準備が済んでいるというような話と、皆様方にはまたチェックお願いしますというご依頼がございました。</p> <p>それから、2つ目のほうは、今度、令和6年、次の3月頃に市報などの媒体で、紙に印刷物として、この3市市民会議の取組とか一連のことを報告いただきたいということで、具体的に幾つかご紹介がございました。これらの内容について、皆様のほうからご質問、またはご意見を伺えればと思いますので、よろしく願いたします。いかがでしょうか。どうぞ、願いたします。</p>
林委員（小）	<p>3月15日号にまた掲載するというところでございます。すいません、市民会議の活動紹介というお話がありました。特に小冊子は、小冊子を作りましたということで紹介できるんですが、アンケートの結果なんですけど、これからお話ししますけれども、どういうふうにまとめるかで、いわゆる活動紹介という、どのぐらいのスペースにどういうふうにまとめるかというのは、少し議論が必要かなと、検討が必要かなと思います。というのは、ボリュームが結構ありますので、やっぱりダイジェストという話になると思うんですね。そのダイジェストって話になったときに、どういう中身になるか、これがふだん、今、ネットなどで</p>

宮脇委員長	<p>いろいろ調べると出てくる食品ロス削減のための取組みたいなことの、こういうことをやりましようっていうのがいっぱい集まりましたっていう程度の内容になるのか、どこまで突っ込んだ内容を、アンケートをわざわざやった結果として報告できるのかっていうのは、ちょっと気がかりな点がありますので、中身について少し検討が必要かなと思いました。掲載することに反対しているわけではなく、活動紹介といったときに、このボリュームをどの部分をどういうふうに説明しようかなというのが、ちょっとご相談が必要かなと思いました。以上です。</p>
	<p>ありがとうございます。そうですね。大体市報といっても、一面全部使えるとは限らないので、分量と入る文字数とかを、また行政の委員の方からご提案いただいて、その中でどのような配分でやるかというのを、また皆さんのほうで少しご意見を交換していただきながら、進めていただくといいんじゃないかなというふうに思った次第です。ありがとうございます。</p>
	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
	<p>先ほど八ツ藤委員から委員長にということで、言われていた編集という表現ですね。ただ、この冊子は、やはりこの3市市民会議の成果として出ていくものなので、どこかには、何か名前がつくんだろうなとは思いますが、それを編集と言うのか、監修と言うのかで、監修は監修で、またちょっともっと何かこう、上から目線と言ったら怒られますが、我々がいろいろコメントを出しながらやっていただいて、特に情報発信グループで丁寧にいろいろ見ていただきながら進めていただいているので、ここに入れるタイトルが編集なのか、何なのかみたいところですけど、編集じゃないかなと個人的にはちょっと思った次第です。それなりに、確かに作業の機械の話とか焼却炉の話は、もちろんこれ、行政のほうでやっていただくことですけど、大枠、小学生に分かりやすく、特に3市の内容について、こんなのを入れてほしいとあっていう大きな方向性を、グループのほうでいろいろ意見を出していただいていたので、それは私としては、編集ではないかなとちょっと思った次第ですが、もっと何かこう適切な2文字か3文字ぐらいで表現できるものがあれば、逆にほかの委員の皆様からのご意見伺ってもいいかなとは思っている次第です。</p>
	<p>表現的な文字が、編集ではちょっと違和感がというふうにおっしゃられたんですけど、そのあたりは、私自身は編集でよろしいのではというふうには思ったんですね。別に行政委員の方から先に、ぜひ編集にしたいですって言われたわけではないので、私のほうでこの中身見たっていうのと、皆様方がここで何回も報告していただいた内容から、編集でよろしいかなというふうには思ったところです。何か適切な、もっとこんなのがよいという表現があれば、よろしいかと思うのですが、どうですかね。この辺、私のほうは特によろしいかなというところがあった次第です。すみません、違和感がと言われると、全部つくってないからという、多分そういう思いでおっしゃられているんだとは思っています。</p>
八ツ藤委員(国)	<p>我々市民目線でいくと、ちょっと起案したぐらいで、直接は印刷業者ともやってないので、実務はやってないなという感じがあったものから。ただ、市民会議全体の構成を見れば、行政の方も入っているし、それから事務局の方も。実際には事務局の方が、一生懸命、印刷会社と</p>

林委員（小）	<p>やっていたいでいるのだと思いますので、そこがちょっとどうなのかなと思っただけで、皆さんがそれでよければ結構だと思います。</p> <p>会議全体で取り組んでいるということであれば、編集で違和感ないと思います。</p>
宮脇委員長	<p>この報告、グループからいただいた内容を思い起こしてみても、十分、編集作業だと思います。逆に言うと、印刷業者さんとの実務的なところのやり取りとかお金の話とかは作業であって、編集じゃないかもしれないので、私自身は皆様方がやっていたことという認識です。</p>
八ツ藤委員（国）	<p>皆さんのご意見が相違ないということであればいいんじゃないでしょうか。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。では、すいません、私の1つ、宿題を解決させていただきました。ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>ちょっと報告、今いきなり受けた段階でということなのですが、あと、例えば特集記事の話ですけれども、3月ぐらいに具体的な内容をどこまで書き込めるかは別としても、まず、載せていただく特集記事をやりたいというご提案でしたので、そのあたり伺ってみようかと思いますが、いかがでしょうか。3月に、今期2年間の成果を少し3市の市民の皆様、こういう会議やっていますということと、こんな活動行われていますというのをちゃんとアピールしていくということは、大事ではないかなと思うのですが、ご提案どおり、まずは3月に載せてもよろしいかどうかというあたりから、何かご意見いただくといいかなと思いますが、いかがでしょうか。お願いします。</p>
小澤委員（日）	<p>日野市の小澤でございます。ちょっと現実的なお話をさせていただきたいなというふうに思っています。日野市の場合は、広報については、月に1回ということで、3月については、3月の15日に発行ということでございます。昔は1日号、15日号があったんですけれども、今は月1回ということになっているので、かなり紙面も限られているという実情があるというところです。</p> <p>この情報紙については、3月に発行の予定ではございます。その中であれば、こういった記事のほうを上げられるかなというふうには思っております。ただ、締切りが、1月の中旬が締めとなっていますので、ちょっとスケジュール的にはタイト、かなり急がなければならないかなというのが、今の日野市の現状ではございます。ごみ情報紙も全部で4ページ、ページ数がこちらも限られているので、極力こちらを優先してということではできるかなとは思っていますけれども、ちょっと制約があるかなというふうには思っています。私からは以上でございます。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。先ほどご紹介いただいたように、前回は確か日野市の「広報ひの」に載せていただいたということですけど、小金井市さんと国分寺市さんは、そこに挟み込む別紙のような形だったというふうに伺っているので、これは多分、ごみ情報のほうでも大体同時期、</p>

	<p>ぴったり同じのときにはもう今はない、15日発行はないっていう、いわゆる話でしたので、月内が同じであればよろしいのではないかと思います。分量的なところを、またそれぞれにちょっと、逆に言うと、3市で基本的には同じ内容のものを出していくということなので、どの分量ができるかというのを行政委員の方で、ご相談いただくというのはいかがかとちょっと思いました。もし何か補足で、そのあたりのところあればお願いします。</p>
<p>今井委員（小）</p>	<p>小金井市は、3月15日号の市報の中に、リサイクル特集号を挟み込んで発行する予定にしています。ただ、やはり年度末ということもあって、少し掲載する記事が転出入に向けた内容であったり、あとは、今年度の施策の展開の話であったりというところで、大分紙面は埋まりそうなところはあるんですけども、3市のほうでボリュームを合わせてということであれば、検討はできると思います。</p>
<p>栗原委員（国）</p>	<p>国分寺市です。毎年3月15日号において「リサイクルだより」、委員からお知らせがあったところで、去年は「もやせるごみのゆくえ」という形で、見開きの1ページの3分の1ぐらいの紙面を取って、浅川のほうでごみの処理をしているというような内容の記事が載せているところなんです。こういったところの枠の中で、そういった記事を載せることはできるんじゃないかと今、思っているところではあるのですが、来年度、別途、プラスチック廃棄物のほう、ちょっと有料化一括収集とか、周知を図っていく必要が今、手続のほうを進めているところでございまして、ちょっとそちらのほうは、もしこういった3市共通の記事を載せるということであれば、市報のいわゆる本体のほうに載せるような感じにして、「ごみ減量リサイクルだより」というところの部分に掲載するのは可能なのではないかというふうに思っておりますけれども、3市共通というところですので、最大公約数といいますか、3市の同じような内容で載せていければいいのではないかというふうに考えております。</p>
<p>宮脇委員長</p>	<p>ありがとうございます。共通するところを伺うと、ちょっと年度末なので、記事、もう既に結構、今言われたプラスチックの話とか、やっぱり非常に重要な話でもありますし、もちろんこちらの3市市民会議も非常に重要なんですけど、バランス取っていただくというところで、まずは、少し分量は確認をしていただいて、先ほど林委員からもお話ありましたけど、実はもうアンケートやりましたぐらいしか書くスペースがないという話になるかもしれませんし、ちょっとそのあたりは、少し確認取っていただくのと、全部が入らなければ、先ほどご提案のあった項目の優先順位を少し、皆様のほうで考えていただくといいなというところなんです。</p> <p>それでは、ちょっと先ほど幾つかご提案の項目がありましたけど、まずは市民会議活動内容については、小冊子の話とアンケートの話と項目としては書きましようという話は、多分皆様、ご了解いただけているんじゃないかなと思います。それから、2年間、これまでうまくこの組合として、浅川清流さんのところで実績とかもご紹介したらどうでしょうかという話でしたが、こちら3市市民会議の目的は、やはり共同処理というところから始まっておりますので、そこも、そういう項目はきちんと前段階で書いていただく必要があるかなというふうに私も思いま</p>

	<p>した。このあたり、いかがでしょうか。何かちょっとこんなふうにしたほうが良いというご提案があれば、お伺いしてもいいかなと思います。</p>
八ツ藤委員(国)	<p>市民会議メッセージを出していたんですけど、皆さんがどう考えておられるか、お聞きいただけるとありがたい。</p>
宮脇委員長	<p>分かりました。順番に伺おうかと思っていましたが、先に、市民会議のこのメンバーの思いみたいなのを、前の、初めの頃は書いていただいていたんですけど、実際の具体的な3市での取組とかがあんまりなかった。本当にこういうふうな方向でいきたいと思います時代だったので、そういうところにたくさん紙面を割かれていたんですけど、八ツ藤委員からすると、それはなくても、実態として活動内容をたくさん書いたほうが良いというような、多分、ご提案だったかと思いますが、この辺はいかがでしょうか。やはりメンバーとしての何かこう、しっかりとしたものがあったほうがいいのか、活動のところにその辺織り込んで、文章の中に取り込んだほうがいいのかというところはあるんですが、こちらのほうが良いなというのがあれば、お聞きしておこうかなというところですか。どうでしょうか。</p> <p>きれいに文章で書いていきますので、基本的には。ですので、こういう実績でやったことについて、実際行ったことと、その活動の中での思いみたいなものを同じ文章の中に入れてしまうっていうのは、一つの手かなというところがあります。あえて市民会議メッセージっていう、しっかりと枠を取る必要があるかどうかっていうのはありますが、いかがですかね。先ほどの紙面があまり、思ったほどないっていうお話であれば、その枠よりも、アンケートでこんなことが分かりましたというのを、そこにも少し書いていただいたほうが良いようにもちょっと思ったところですか。最終的には、皆さんに投げてしまって申し訳ないんですが、情報発信グループの皆さんが最終決定するということになると思いますので、全体の方向としては、先ほどご提案あったようなところによろしいという感じですかね。ありがとうございます。</p> <p>それから、あと、市長メッセージもごさいます、メッセージシリーズですと、分量の問題からすると、優先順位がどっちかなっていうところはあると思います。もちろん市長が、そろってちゃんとやっていますと言うのは非常に大事なところなんですけど、前回とか初回とかのときの市長のメッセージ、結構ボリュームが、それなりに丁寧に書いていただくので、そこに紙面を取ってしまうのはというところもちょっと心配はしてるんですけど、最終的な分量を行政委員の方々に少しご相談いただいた後、結構、余裕が最終的にあれば、お願いするということと、あとは、先ほどの印刷が、1月には記事ができていないという話で、3市の市長が全部文章を書いて、すり合わせして、意見が、方向性が間違っていないかって確認してっていうことをやると、時間が要るかなという心配をちょっとしているところですか。</p> <p>すいません、ちょっと私の意見ばかりですけど、何か進め方について、こんなふうにしたらどうかなみたいなものがあれば、もしよろしければお伺いします。</p>
八ツ藤委員(国)	<p>今日提案していただいたのは、まず、紙面の枠取りが必要かなと思って、各3市の方ですね。いつやるか、どれぐらいのスペースがあるか。</p>

宮脇委員長	<p>まず、そこをやっただいて、どれぐらいの記事が載せられるのかということで、市長メッセージなんかも、ある意味で行政サイドの問題でもありますので、そこはお任せするということと、それから、我々の市民会議メッセージは、先ほど委員長おっしゃったように、それを我々の活動紹介の中で、載せればいいかなと。ここはちょっと皆さんのご意見を聞きたいんですけど、そこだけはちょっと決めていただいて、それを踏まえて、行政サイドのほうでどれぐらいスペースとれるのか。各市によってもそれぞれ違うと思いますので、そこはもうお任せするしかない。ただ、枠取りは早くお願いしたいということかなと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。皆さんうなずいていらっしゃるので、大体、八ツ藤委員がおっしゃったとおりの方向性でよろしいかというふうに思います。</p> <p>それでは、続けてまいりたいと思います。情報発信・環境学習グループの皆様方、本当にありがとうございます。また引き続き、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、次は、減量グループの皆様からの報告をいただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
林委員（小）	<p>それでは、減量グループの報告をさせていただきます。減量グループでは、9月14日に会議を開催し、その後、10月1日から10月31日まで、ウェブによる、QRコードの読み取りによるアンケートの調査を行いました。ちょうど1か月間やったんです。実はお手元の資料に重要なことを書くのを忘れていたんですが、対象は、日野市、国分寺市、小金井市の市民と、それから、一部近隣市の市民もカウントされているのですが、総数が505件でした。それをここにちょっと書き漏らしまして、実際のアンケートをやってみたところが505件だったということを追記しておいてください。</p> <p>それで、内容なのですけれども、ここに書いてありますように、設問1から設問8までの項目で問いかけまして、その結果が次のページにグラフで出ています。ちょっとこれも白黒で分かりにくいのですけれども、設問1が年代です。年代でいきますと、円グラフの右肩の3番、これが80件と書いてある、これが30代。それから、114件というのが、40代。それから、149件というのが50代。それで、時計回りに回ってきてまして、82件というのが60代。それから、54件というのが70代ということで、大体満遍なく各年代の方がアンケートに回答されているということです。</p> <p>それから、お住まいの市ということで、これが右側の212件が日野市、下の59件というのが国分寺市、168件というのが小金井市、それから、左の上のほうの66件が近隣市で、その他ということになっております。国分寺市がちょっと少なめなのですけれども、これはどうもいいタイミングでイベントがなかったとのことで、やはりアンケートを採ることがなかなか難しかったというお話をお聞きしています。</p> <p>それから、次の設問3で、食品ロスという言葉を知っていましたかというのを見ていただきたいのですが、これを見るとここでは、496件の方が知っていますということをお答えいただいています。これは98%ですね。ほとんどの方が、言葉は知っていますということなのです。</p>

ね。

それから、設問4で、気をつけていることがあるか、取り組んでいることがありますかということに関しては、これもほとんど467件、92%の方が何がしかのことをやっているというお答えをいただいています。

その後、5-1で、気をつけている、取り組んでいることに当てはまるものを選んでくださいということをお願いをしたのですが、事前にこれ、複数回答がありますので、1,500件近くの回答がトータルで得られているんですが、1人で二、三件の項目にチェックを入れている、そういう感じなんですけど、特に上のほうの2つ、買物の前に家にあるものを確認していくとか、家にある食材の賞味期限を考えているとか、そういうのが多く出てきています。気をつけていることとしてね。

その他というのが、ここに43件でございますが、これは後ほど細かいところで、もう少しお話しをさせていただきます。

それから、5-2で、食品ロスを図る上で、取り組めそうなものを選んでください。これはもう既に今の5-1で、やっている人はやっているっていうことなんで、ここを選んだ人っていうのは、結果的に回答数としては81件ぐらいしかなくて、あんまり重要なデータが得られたわけではありません。

それから、設問6で、食品ロスを減らすことに取り組みにくい理由は何だと思えますかっていうのがありますが、これは628件の回答を得られていますけれども、この中で、特にやはり経済面を優先して、なかなか取り組みにくいとお答えいただいている、あるいは、やることに手間がかかりそうだというようなお答えが多かったということでもあります。ここでもその他という回答が85件ございまして、これについても、ちょっと後でもう一回、どんな内容かというのをご紹介したいと思います。

その次は、これ、本日まとめておりますけれども、今お話ししました設問5-1で、気をつけている、取り組んでいることのうちのその他というふうにかかれた43件が、どんなものが多かったかというのと、やはりここで項目別を書いてありますけど、直接廃棄の削減に関して、賞味期限が切れても、食べられるものは食べるようにしているという方が8件ありました。それから、食べ残しの削減、食べ切りについては、残さず食べますという方が9件。それから、小売店の食品ロスの削減というところでは、値引き商品なるべく購入するようにしているというのが9件、手前取りをしているなんていう方も4件ぐらいおられます。それから、ここで、後でまたこれも出てきますが、ネットで売切れ、売れ残り商品を割引価格で購入しているという方が3件ありまして、ネットの活用をされている方も一部にいらっしゃるということです。

次が、設問6で、食品ロスを減らすことに取り組みにくい理由ですが、その他と答えた方が85件ございまして、取り組みにくいのは、もったいないという意識が低いという御意見。それから、食品ロスの削減を自分ごととして捉えていないというのがあります。それから、賞味期限を気にし過ぎるというのも、ちょっとコメントとしてございました。それから、事業者の問題。事業者の問題があるというのは、小売店や飲食店から食品ロスが出てきていると。これは当然、そういうところでのロスが問題なんじゃないかと。それから、あと、ばら売りや少量のメニューというようなものが少ないというのも、ちょっと取り組みにくい理由って

いうことで挙がっています。それから、フードドライブの問題ということで、フードドライブが平日しか行われていないとか、どこに持っていかればいいか分からないという、フードドライブに対する意識というのの一部見られています。

次のページに行きまして、設問7で、食品ロスを減らす取組を広めるために必要なことっていうのを回答いただいたのが285件ありまして、これは、完全な自由記述なんですけれども、この中で黒丸の2つ目で、行政による啓発ということで、食べ物を捨てるのはもったいないことを繰り返し訴えて、意識を高めるといようなご意見が25件。それから、子供の教育のところ、学校や家庭で、子供の教育から、食べ物を捨てるのはもったいないという意識を植えつける必要があるというのが13件ということで、もったいない意識の啓発について結構多くご意見として出ています。

それから、ちょっと面白いと思ったのは、下のほうで家庭での取組で賞味期限が過ぎてもすぐに捨てずに、食べられるものは食べるようにするというご意見。これは先ほど見せていただきました「私たちの可燃ごみ処理施設」、小学生向けのパンフレットの中にも、賞味期限のところにそういう記述がありますので、そういうのはやっぱり徹底していく必要があるかなという感じがしました。

それから、その次に同じような小売店の取組というところで、ばら売り、量り売り、小分け、少量パック、これが34件ということで、やはりお店に対する要望ということで、そういうものも多く出ておりました。

それから、ここでもフードドライブの活用ということで、フードドライブが身近にあって、利用しやすいようにすると。それから、スーパーなどの身近なところに、食品回収ボックスがあるとよいと。あるいは、フードドライブの設置場所や、回収した商品の活用の仕方をもう少し周知してほしいというご意見、フードドライブに対するご意見というのも散見されました。

それから、最後に食品ロスについて知りたいということで、これも自由記述なんですけれども、140件ありました。やはり食品ロスの発生量、内容、処理方法、これに関心があるという方が23件。それから、具体的な小売店での取組で、食品ロス削減の取組状況。小売店、お店はどういうふう処理しているのかというご意見。それから、ここでもフードドライブの場所だとか、寄附された食品の利用のされ方、こういったものに関心がある。ここで、実は食品ロスについて自由記述を求めたところの知りたいことの中で、58件がその他ということで、58件というのは、これは後ろのほうに細かい、実際の生の記述を載せておりますけれども、食品ロス削減がなぜ必要かっていう問いかけの方が10人ぐらいいらっしゃいました。やはりアンケートに答えられている方の中にも、食品ロスに対する意義というのが、いま一つ理解できないというご意見があったのは、ちょっと驚きでもありましたけれども、そういう結果でした。

全体のご説明を行いましたけど、実はその次に、食品ロス削減の取組の方向性として、先ほど1枚刷りを2枚挟んでいたものの1枚、それから、その次に500人のアンケート結果からというものがついていますが、その後ろにホチキス留めで、設問5-1から設問8までの自由記述を全て載せてあります。今、ご説明してきました内容というのは、基本

的にこの自由記述の中の一部を、項目から選んで分類して、数にして示したものでございます。

前のページに戻りまして、「食品ロス削減の取組の方向性～アンケート調査結果に基づく提案～」ということで、ここにまとめてございますけれども、6つの項目について書き出してあります。1つは自治体による啓発で、もったいないことを繰り返し訴えて、食品ロスの削減意識を高める。それから、削減方法の具体例を挙げて周知する。減らすことによる経済的メリット、あるいは、デメリットを周知する。特にこれはコストの問題だとかごみ袋代だとか収集費用を含めてということです。

それから、2番目に子供の教育という観点では、学校や家庭で、子供のときから食べるものを捨てるのはもったいないという意識を植えつけ、好き嫌いなく食べることの重要性を教える。

それから、3番目が家庭での取組ですけども、直接廃棄の削減ということで、適切に保存する。それから、買物前の冷蔵庫内の賞味期限、消費期限をチェックする。それから、賞味期限を過ぎてもすぐに捨てずに、食べられるものは食べるようにする。必要なものだけ買う。それから、食べ残しの削減ということで、料理をつくり過ぎない、残さず食べる、余った料理をリメイクする。それから、過剰除去の削減、エコクッキングということで、皮や葉や茎などもなるべく食べる。

それから、4番目が小売店での取組ということで、期限間近な商品は値引きをして、売れ残らないようにする。これはやられているとは思いますが。それから、少人数の家族向け、ばら売り、量り売り、小分け、少量パックを増やす。それから、小売店は品切れを恐れずに、廃棄が出るほど、在庫をもともと持たないようにしてくださいという話もあります。

それから、飲食店での取組は、量を少なめに注文できるようにする。あるいは、食べ残した料理を持ち帰るようにする、お客さんに食べ残さないように働きかけるといようなことです。

それから、フードドライブの活用ということで、設置場所や回収した商品の利用方法などを周知する。それから、フードドライブが身近にあって、利用しやすいようにする。これは、フードバンクと言い換えてもいいかもしれませんが、こういうようなことが挙がっています。

最終的に、こういうことに取り組む、周知するよう図る必要があるということ、こういう形でまとめたんですけども、その次にもう一枚、500人のアンケート結果からというもので、再度繰り返しですけど、食品ロスという言葉は浸透している。先ほどお話ししたように、98%。それから、ほとんどの人、92%が食品ロスの削減を意識しています。一方、アンケートの回答の中にも、食品ロスの削減の意義が理解できていない人、あるいは、疑問を持つ人が一定程度います。これは140件の回答のうちの10件ということで、7%であります。

それから、フードバンク、フードドライブへの関心というのが、140件のコメントのうちの11件ということで、これも7、8%ということです。

それから、委員からの具体的なアクションの提案ということで、フードロスを無くすために、推奨サイトからの購入、こういったものを紹介したらどうかという意見がありました。これは、このアンケートの結果で私も初めて知ったというのが正直なところなんですけれども、もっと調べてみると、ここに書いてあるKuradashiとかTABET

	<p>E、O t a m e s h i、それからNo food Loss。このf u b oという、フードロス削減ボックスっていうのは、よく見ると、小金井の駅前にも国分寺の駅にもみんな置いてあるということなんですけど、そういうのがやっぱりまだ知られていないので、こういうものをもう少し紹介したらどうかということです。</p> <p>それから、具体的に知りたいと思っている市民に対して、食品ロスの処理費用、家庭と企業から出る廃棄量、フードバンクの場所、それから、フードバンクからの流れ、フードロスについて積極的に活動しているスーパーの公表など、こういったものを取り上げていくべきじゃないかというような意見がありました。</p> <p>以上、全体505件の自由記述で数も結構ありましたけれども、まとめた結果がこういう結果になっておりまして、今、ご説明した食品ロス削減の取組の方向性ということで、アンケート結果に基づく提案ということで、みんなどれもこれまで言われていることだよな、ということになるのかもしれませんが、これに基づいて、3市で具体的に取り組むべきアクションというのを少し絞って、次年度の活動につなげていく必要があるというふうに考えています。以上です。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございました。非常に手間のかかる作業をこつこつとやっていただいたんだということが理解できて、ウェブアンケートということで、集計自体は、多少、昔の紙アンケートに比べると、写したりとかっていうのもなくというところはあったのかもしれませんが、逆に自由記述がすごくて、ちょっと私もちらちらと見たんですけど、全部は読み切れなかったんですが、事前に少し渡していただいて、なかなか厳しく書かれているものとか、あとはいろいろ日々思っていることがつづられていて、非常に貴重なアンケートだったなというふうに思っていました。かつ、今日、今、出していただいたこのまとめが非常にいいんじゃないかなというふうに、私自身は思います。ちょっと私のほうの感想を先に言わせていただきました。</p> <p>それでは、ただいまのアンケート調査の内容などについて、質問、または、ご意見などを伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
加納委員（日）	<p>感想です。私は日野市の協力で、ひの市民リサイクルショップ回転市場というのを市民活動として、お店を持って運営しているものに携わっているんですけども、そこでフードドライブを3年前からやっています、本当に年々、倍々ぐらいに増えていて、来店者の方がわざわざ持ってきて下さっています。それは、私たちが、ある程度たまったら日野市ボランティアセンターに持って行って、そこからフードバンクTAMAさんのほうに行くという流れになっているんですけども、本当にフードドライブやっていますっていうのを結構大きく書いているんですけど、それだけのために来てくださる方もいるので、そうやって周知するのは大事なことだなとすごく思います。ありがとうございます。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。</p>
林委員（小）	<p>今のお話ですが、フードドライブの活動って増えてきていますか。3年前からということなので、随分増えてきているという状況ですか。</p>

加納委員（日）	<p>すいません、うろ覚えなんですけど、最初の頃、1年目はたしか20件だか30件ぐらい、1年間でそのぐらいだったんですが、その次が去年なんですけど、90件近くになって、今年はもうちょっと増えてますので、大分増えてますね。</p>
高松委員（日）	<p>持ち込めるものの制限というか、賞味期限がどのぐらい残っていると、そういうのはやはりチラシで周知してますか。</p>
加納委員（日）	<p>フードバンクTAMAさんのほうに依頼して、チラシの原稿をもらって、それをお配りしているんです。そこには、賞味期限が2か月以上先のものとか、そういう記載があります。あと、生鮮食品は駄目です。</p>
八ツ藤委員（国）	<p>大変いい資料をいただいたと思うんですけども、こちら、お配りしたほうの8ページのところの食品ロスということで、児童向けのを載せているんですけども、現状、日本の食品ロスの発生量は523万トンということで、2、3年前は560万トンとか、あるいは、もっと前は600万トンとか、食品ロスそのものは徐々に減ってきておまして、それから、事業系と家庭系の割合はほぼ半々になっております。4、5年前に食品ロスの法律もできておまして、それから10月は、食品ロス削減月間ということで、全国的に活動がされていると、ホームページなんか全部出てます。各市がいろんな形で食品ロスを削減するための施策も打っています。</p> <p>おそらく3市もいろいろなことをやっていると思いますので、ここに今後の提案等も書いてありますけど、できれば3市の今やっているものを落とし込んで、それに共通意識を持って、さらにプラスするものは何かあるかないか、その辺をちょっと検討していただいたほうがよろしいかと。あるいは、お店と飲食店とも提携して、なるべく食品ロス減らすための取組みとか、それからエコクッキングとかということで、多分そういう講習会みたいなのをやっている行政もあると思いますので、その辺ちょっと落とし込んで、じゃあ、市民会議として、どういうふうにプラスアルファを提案していくかという形がいいのかなと思っております。</p> <p>食品ロスは、学校でも4年生は食品ロスのことも当然のことながら教えています。子供たちにも、その辺の認識があるということを前提に、ちょっといろいろ考えていただいたほうがいいかもしれません。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。ただいまご意見いただいたように、これまでの取組も含めてと。一応、でも、先ほどのところにも具体的な取組、書いていただいていたかなと思います。ありがとうございます。</p>
林委員（小）	<p>すいません。消費者庁だとか農水省、環境省それぞれが、ものすごく多分子算をつけて、食ロスの削減のデータをまとめて、資料を作っているんですよ。ですから、やることってというのはほとんど、ある意味新しいことを何かやりましょうなんて話ではなくて、今回のアンケートを見たときに、具体的に500人の人が求めていることは何か。どうやってそれに触れていくかというのが、やっぱりポイントだろうなと。八ツ藤委員がおっしゃるように、これまでもやられているんですよ、やって</p>

	<p>いるつもりなんですね。でも、それが届いているかどうかという話になると、やっぱりなかなか見えてこないものなのかなと。</p> <p>今回、本当に分かったのは、少なくともフードロスという言葉は知っている。それから、フードロスについて意識していて、取り組みをしているということです。一方で、フードロスの意味が全く分からない、なぜやるのかというようなご意見もありました。そういうご意見は、ある程度、一定割合出てくるとは思うんですが、どうしたら具体的な活動に取り組んでいただけるかというのは、やっぱり考えていかなきゃいけないと思っています。</p> <p>実は、私個人的には、フードドライブに前から関心があったんですけども、直接は持っていくぐらいで、具体的な活動はしてきていなかったのですが、結構、関心のある人がいるんだなというのを改めて認識できました。それから、場所が近くにあるとか、曜日を増やすとか曜日を変えるとか、そういうご意見もありますので、それに応えるような形のことを何かやっていかないと、せっかくアンケートを採っても、役に立ちません、お話だけでしたってことになってしまうので、そこは、小金井市の今井課長と話をしているところなんですけど、どうやって皆さんに取り組んでもらえるかということ相談しているところです。</p> <p>いずれにしても、市民がNPO法人を立ち上げて、フードロスの取り組みを進めてくれればいいという意見も一方にあるとは思いますが、やはり行政が、どこまでどういう旗を振れるのか、今の旗の振り方で十分かどうか、今までやっていることと見比べて、検討が必要かと思えます。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。非常に大事な視点じゃないかなというふうに思いました。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。ちょっと時間も大体いいペースで進んでおりますけど、追加でもしグループの方で何か補足がございましたら、お受けしてもよろしいですし、もう少し、先ほど感想もいただいたんですが、感想のようなものでも結構ですので、ご発言あればと思いますが、いかがですか。</p>
高松委員（日）	<p>このアンケートを採る前に、答えてくださる方が実際にいるのかなって思ってた結果が、この結果になって、関心の高さに驚いているのと、せっかく答えてくださった方、こういうことが知りたいという具体的な要望が出ているので、このアンケートに対しては、それについてちゃんと今回の結果と、情報を欲しいって思っている方々に情報をきちんと伝えなければいけないっていうのが、私たちのグループの中でやっていることの意義かなっていうのがあります。</p> <p>それで、実際にこのアンケートでもあったんですけど、自分たちの、何ていうんですか、金銭の情報を知りたい。そうすると、こんなに無駄にしているんだと。買うのにお金を使い、また、処分にお金を使い、そういうことが、ここを減らせるっていう。私はすごく今回これで、皆さん具体的なことを知りたがっているところを感じたので、その辺はある程度数字に出してあげて、情報として出していければいいのかなとすごく感じました。以上です。</p>
森田委員（国）	<p>私は売っている立場からちょっと申し上げたいんですけど、今、賞味</p>

<p>加納委員（日）</p>	<p>期限2か月っておっしゃいましたよね。2か月ないと駄目なんですか。</p> <p>今、11月21日で、2か月じゃなかったかもしれないんですけど、10月31日までの期限では駄目ですよ。それはちょっともらえないということです。</p>
<p>森田委員（国）</p>	<p>うちは、1か月切ると半額で売るんですが、2か月だと、ちょっと出せない。お店でもそういう努力はしているんですが、うちは、賞味期限長いものはそうやって売れるんですけど、例えばパン類は3日しかないんですよ。そうすると、当日、その切れる日の、もう午後には半額にするんですけど、それでも残って、仕方なく破棄をするんですけど、本当に嫌な思いをしながら捨てているんですよ。</p> <p>あと、飲食店もやっていまして、今、飲食店でもお持ち帰りできないところもあって、うちは、お持ち帰りしてもらいますけど、そういう衛生法とか、いろいろ食中毒の問題もありまして、厳しいところは一切持ち帰りさせないところもあるので、その辺も変えていくようにするのかなと思いますけど、皆さんどうでしょうか。</p>
<p>宮脇委員長</p>	<p>どうもありがとうございます。高松委員のお話でいうと、アンケート、やっぱりここまで手間かけてやっているの、先ほどの市の広報とか、それ以外に一定程度まとめていただいたものをそれぞれの市のホームページの関連するようところに上げていただいて、3市市民会議の取組でこんなアンケートをやって、こんな成果でしたみたいなのは個別に出していただくのと、今ちょうど提案ありましたけど、その内容で、具体的に質問みたいなのがいっぱい出てるので、そういうものについて、やはり何かそれぞれの市で少し、それに関連して情報提供ができるような形になると。簡単にはいかないと思うんですけど、ぜひ、やりっ放しにならないように、行政委員の皆様方もサポートをよろしく願いますというのが、私のお願いでございます。ありがとうございます。</p> <p>それから、森田委員のところも、多分、お店というよりは、市民の方の持込みですよ。普通の一般家庭の。</p>
<p>加納委員（日）</p>	<p>はい、そうです。</p>
<p>宮脇委員長</p>	<p>一般家庭で買ったんだけど、やっぱり食べなかったみたいなのを持ち込んでいただくという形なんで、確かにおっしゃるとおりで、ぎりぎりまで売っていて、破棄っていうのは、商品の場合は仕方ないというか、本当は残念なんですけど、そうなるのかなというふうにちょっと今、私もそういうふうに思いました。ありがとうございます。</p>
<p>林委員（小）</p>	<p>賞味期限の短いものが、もっと安くできるだろうみたいなご意見もあったりして、結局それを捨ててしまうっていうのは、少しでも、何ていうかな、小金井でやっている取組み、何ですか。</p>
<p>今井委員（小）</p>	<p>タバスケです。</p>
<p>林委員（小）</p>	<p>タバスケ。できるだけ残るものを減らすため、そういうネットを活用して、手間はかかると思うんですけど、残ったからごみで出すのは、それ</p>

	<p>はそれで終わりなんですけど、その行方をちゃんと最後まで一つでも売り切る方向に持っていくには、手間はかかると思うんですけど、大変ではあるんですけど、やっぱりそういうのができるだけ普通の文化になるようなことを、みんなで働きかけていかなきゃいけないかなという気はします。</p> <p>昔、飲み屋さんで残ったものを買って、つまみに出すみたいな話を聞いたことがあるんですけど、今はそういうのが行われているのかどうか分かりませんが、飲食店で残ったものを夜間営業しているお店に持って行って、そこで消化してもらいたいことや、分からないですけど、何かいろんなことを考えなきゃいけないかなという気がします。</p>
森田委員（国）	<p>差し入れるっていうのも限界があるので、本当に全部どんどん持って行ってくださいってわけにもいかないと思う。うちは、8時までやっていて、ケーキやマフィンを焼いているので、好きな方に電話して食べるか聞いてみて、そこに持ってくとか、それぐらいしかできないですね。</p>
林委員（小）	<p>最近、値引きされる時間を待って買いに来る人がいるっていう話もありますね、スーパーとかでね。</p>
森田委員（国）	<p>それを狙って来る人がいます。</p>
高松委員（日）	<p>難しいですね。商品価値が下がり過ぎちゃっても。</p>
森田委員（国）	<p>そうなんですよね。時間もちょっと考えながら、値引きしていくんですけど、うちは、大体半額にしちゃうんです。だから、それを狙って、全部買ってあげればいいんですけど。多少は捨てるんですけど、残すよりはいいかなと。</p>
高松委員（日）	<p>捨てるより。</p>
森田委員（国）	<p>はい。あと、今、食品ロスだけなんですけど、やっぱり資源を使い切るっていうところでは、こういう着るものとか物とか、そういうものも皆さん、どんなふうにしてらっしゃいますか。私は、お店の裏にスペースを作って、要らなくなったものをただで持ってきてもらって、お店の裏にそれを飾っておくんですね。ハンガーにつるして。それで、全部うちは、どんなものでも300円で売っていて、それを全部まとめて社協に寄附しているんです。だから、そういう場所、空間を貸すとか、そういう仕組みも何かここで考えていただくといいなと思います。</p>
林委員（小）	<p>すいません。発生量とか、そういうものを具体的にというお話があった。そういう話は、例えば子供さん向けの食品ロスを減らそうっていうところに、八ツ藤さんがおっしゃいましたけど、出ているんですね。ただ、やっぱりこの数字があんまりピンと来ないんですよ。年間で523万トンとか、まず、想像つかないでしょう。それから、大型10トントラックで1,433台分。これもちょっと想像が付きにくい。国民1人当たり、1日おにぎり1個。これもよく出てくるんですが、そうやって言われればそうなるよなっていうことぐらいは分かるんですけど、あまり身につまされないというか、こういう数字はもう既に出ていると思う</p>

	<p>んですね。だから、今回、例えばもっと具体的に教えてほしいという問いかけに対して、この数字で答えたのでは、やっぱり駄目だと思います。</p> <p>じゃあ、どうするかというと、例えば小金井市では、小金井市で発生しているものがこのくらい。どうしても推計になってしまって、精度は良くないかもしれませんが、でも、小金井市で発生しているのは、どうもこのくらいが見込まれると。例えば1人当たりでこうとかね。要するに、もうちょっと身近なレベルで、少なくとも市の単位で答えるとか。日野市や国分寺市はやっていますか。</p>
八ツ藤委員（国）	<p>やってないです。食品ロスに特化してはやっていません。組成分析のことですよ。組成分析でないと、データが出ないはずですよ。</p>
林委員（小）	<p>そうです。それがやっぱり必要なような気がするんですけど、そういうものにぜひ取り組んで、一歩進んだ回答を用意していただければと思います。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。それでは、続けて、佐藤委員お願いします。</p>
佐藤委員（国）	<p>食品ロスに関してですけれども、2019年に法律ができて、国民運動としてやるということを記事で読みました。古い新聞ですけど、取ってあるんです。私はそれをとても楽しみにしているんですけど、やっぱりこの大きな国全体というのは、大変なことだなと思いつつ、今回こういうデータが、いっぱい出まして、いっぱいいろんな意見を読む中で、先ほど市にそれぞれ計画があるという話がありましたけど、この法律でいきますと、やっぱり食品ロス削減月間とか、食品ロス削減の日というのが設定されて、このことを踏まえて、都道府県や市町村も削減推進計画をつくり対策を実施すると。</p> <p>こういうふうに具体的に言われて、国民運動というふうに銘打たれていて、きっと市でもそれぞれの計画ができていると思うんですが、先ほどそれに沿って考えたらいかがかという提案がありましたけども、私もこのアンケートを読みまして、いろいろ皆さん、考えているところはみんな同じだなと思ったんですけど、ちょっと思ったのは、食品ロスはお金のロスだと。そのお金が、ほかのことに使えたら、こんなにすごいんだという、そういうアピールをしたらどうかって意見があったんですけども、確かにそういうことを考えると、アンケートとか、いろんないい話は聞いても、究極は食品ロスは市民が主役だと、私が主役みたいなのに市民がならないと、なかなか具体的行動は起きないかなと思いました。せっかくいっぱい出た意見ですし、きっと書いた方はアンケートの総体を知りたいなと思っただけで、書いてくれたら、このアンケートもすごく意味があるんじゃないかなとそんなふうに思いながら、いろんな意見を読みながら、しっかり見てる人は見てると、本当にすごい資料だなと思って、そんなふうに見ましたので、ぜひ行政の方には、市に合った、本当に市民がそうだと思うようなものを考えていただけたらいいかなと、そんなふうに思います。以上です。</p>

<p>宮脇委員長</p>	<p>ありがとうございます。幾つか今、ご意見いただいています、確かに各市の状態とかをちゃんと落とし込んでいく、具体的に。ちょっと手間かかるとは思いますけど、やっぱり本当に食品ロスを市内で減らしていくという取組をする上では、どのくらい出ているのかという実態を調べるということですね。やっぱり、うちの市ではこんなに出てましたみたいなところがあると、みんな驚くみたいなのが必要でしょうし、そうすると、ごみ処理費用にそれだけ、幾らかかっているんだみたいなのが今、佐藤委員からお話あったところとか、先ほど高松委員からも関連してのご発言があったんですけど、このくらいお金かかっているんだよね、ごみ処理にとかいうところで、ちゃんと食べてれば、これだけ、お金かかんないんじゃないですかみたいな、そういう考え方も、提示の仕方っていうのも、何か皆さんにいいのかな、今、まさにおっしゃっていただいたところ、いいなというふうに思いました。ありがとうございます。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。お願いします。</p>
<p>齋藤委員（小）</p>	<p>すいません。アンケートのほうもすごく内容が濃いと思いました。3市合同の3月に載せる市報に関しては、小冊子のことと今回のアンケートのことをメインで、例えば浅川清流さんのほうは、この間、情報交換とかでもお話が出ましたけど、3月にも冊子が出るということなので、市報のところに浅川清流さんの細かいところまでは、多分、紙面的にも無理だと思うので、載せなくてもいいのかなと思うし、市長のメッセージとかも。とにかく皆さんがやってきたことを載せるのが一番なのかなって思いました。以上です。</p>
<p>宮脇委員長</p>	<p>ありがとうございます。大変心強いご意見を最後にいただいたところです。ちょっと時間が押してしまったので、もしまだ言い残したことがあれば、お伺いしますが、いかがでしょうか。大丈夫そうですかね。細かなところはぜひ、こんなことも考えられるのではないかなというようなご意見とか、まだ今見たばかりで、これから丁寧に見ていただいて、いろいろ意見交換ができると思いますので、事務局のほうに感想程度でも構わないので、情報共有したほうがいいかなってところありますので、お伝えいただいて、少し何か意見が幾つかたまってきたら、まとめてメール等で配っていくというような形でも可能だと思いますので、ぜひよく読んでいただいて、またご意見いただければなというふうに思っています。ありがとうございます。</p> <p>それでは、ちょっと私が、まとめとして活発なご意見がたくさん、最後、出していただいたので、時間が結構詰め詰めになってしまいましたけれども、それでは、私の意見というか、感想などは先ほど本当に申し上げたとおりで、それぞれ非常に重要なコメントをたくさんいただいております。今日の意見も非常にいい意見がたくさん出ていて、行政の方は、宿題が何かちょっと多くなっちゃったかなってところありますけど、可能な範囲で整理をしていただいて、またやっていただければなというふうに思っています。本当に2つのグループとも、かなり活発に活動していただいたんだなというところが、私の感想でございます。本当にありがとうございます。</p> <p>それでは、次の議題に入りたいと思います。議事次第2のその他となります。何か事務局よりございましたら、よろしく願いいたします。</p>

事務局	<p>今後の会議の進め方なんですけれども、本日の会議でいただきましたご意見等を踏まえまして、次回の全体会までにもう一度小委員会を開催していただきまして、最終報告に向けて、取りまとめをお願いできればと思います。次回の全体会ですが、大体2月頃を予定しておりますので、そこで最終報告等をしていただければと思います。なお、小委員会でございますが、年5回を予定しております、情報グループはこれまで3回、減量グループはこれまで4回開催しているといった状況でございます。以上です。</p>
宮脇委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ただいま事務局より、今後の進め方、大体の時期、ご提案がありましたけれども、委員の皆様方からご質問、ご意見ございましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。時期的なところですので、大体よろしいでしょうか。それでは、この議題については、このぐらいとさせていただければと思います。</p> <p>最後に委員の皆様から、まだ何か忘れていたということがあれば、お伺いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日の議題は終了とさせていただきたいと思います。皆さん、活発なご議論、本当にありがとうございました。たくさん意見が出ております。ありがとうございます。それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして大変ありがとうございました。次回の全体会議の日程につきましては、来年2月頃を予定しております。日程、会場が決定次第、皆様にご連絡をさせていただきますので、よろしくどうぞお願いいたします。それでは、これをもちまして、令和5年度第2回3市ごみ減量推進市民会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。</p>